

1. 教員および授業の概要

①教員名：佐々木 真佑 (Sasaki Shinsuke)

②担当科目

博士前期課程：地域開発政策専門講義 9（中小企業支援論）

③教員のプロフィール

一橋大学商学部卒業。一橋大学大学院国際企業戦略研究科専門職学位課程修了。日本政策金融公庫の営業部門、シンクタンク部門、企画管理部門を経て現職。研究分野は中小企業経営、起業家教育。

④所属学会

- ・日本中小企業学会
- ・日本ベンチャー学会
- ・日本経営診断学会

2. 学生に対するメッセージ

中小企業が直面する問題のうち、とりわけ重要視されているのが事業承継の問題です。経営者の高齢化が進むなか、後継者がうまく決まらず、廃業する企業が増えているというものです。黒字を達成し、地域住民にも支持される企業が減少することは、国全体でも望ましいことではありません。日本政策金融公庫総合研究所の調査(2023年)によると、後継者が決まっている企業の割合が10.5%であるのに対し、自分の代で事業をやめるつもりでいる企業(廃業予定企業)の割合は57.4%と過半数に上ります。こう聞くと多くの人は、後継者の確保につながる政策的支援が不可欠と考えるでしょう。実際、世の中はそのように動いています。

しかし、それで十分でしょうか。少し踏み込んで廃業予定企業の廃業理由をみると、最も多い理由が後継者難ではなく、「そもそも誰かに継いでもらいたいと思っていない」であることがわかります。こう考えている経営者に対して、何ができるでしょうか、何をすべきでしょうか。本当は、これを考えることも事業承継問題の本質なのかもしれません。

人や物事の本質は、見ようとしなければ見ることはできません。ですが、見ようとしすぎても見えなくなるものです。周囲に流されず、自由な発想でリラックスして、研究に取り組みましょう。